

第5回坂出市学校再編整備検討委員会 会議録（要約版）

日時：令和3年12月22日（水）10時30分～12時

場所：坂出教育会館2階大会議室

○会議次第

1. 開会
2. 教育長挨拶
3. 議事
 - (1) 小中一貫・義務教育学校の整備費用について（試算）
 - (2) 保護者・生徒用アンケートについて
 - (3) 学校再編整備の考え方について（会長素案）
 - (4) その他
4. 閉会

教育部長 只今より、第5回坂出市学校再編整備検討委員会を開催します。最初に山田教育長よりご挨拶を申し上げます。

教育長 本日はご多用の中、お集まりいただきありがとうございます。先日の市議会定例会の中で、「当検討委員会の進捗状況どうなっているのか。」また、「答申はいつ頃に出されるのか。」というような期待と不安が入り混ざった声がありました。スピード感は大事ではありますが、委員の皆様方には熟議していただき、積極的なご意見をいただけたらと思います。

教育部長 会議に入る前に、当検討委員会の要綱により、出席委員が過半数を満たしていることから（委員総数10名のうち10名出席）、会議が成立していることをご報告します。

それでは、議事に入ります。委員会設置要綱第5条第1項の規定により、会長に議事をお願いします。

会長 それでは議事に入ります。まず初めに、議題（1）小中一貫・義務教育学校の整備費用について、を議題とします。事務局より資料の説明をお願いします。

事務局 （配布資料の説明）

会長 事務局より資料の説明がありました。当資料に関して、委員の皆様からご質問やご意見等がありましたらお願いします。

会長 我々検討委員の方で、東かがわ市への視察は可能なのでしょうか。

- 事務局 委員の皆様方の中で、視察の希望がございましたら、東かがわ市教育委員会と調整の上、可能な限り対応いたします。
- 委員 配布資料で東かがわ市の小中一貫校と坂出市で試算を行った小中一貫校の学級数を比較した時、小学校と中学校で学級数に差が生じているのはなぜでしょうか。
- 事務局 坂出市では、小学校から中学校に進学する際に、別々の中学校に分かれて進学する地区があり、その現状を踏まえているため、学級数に差が生じています。こうした観点からも、小中一貫校を行う場合には、校区審議会において校区を見直していく必要があります。
- 委員 全体的に校舎の老朽化が進んでいますので、新しく校舎を作り直した方が良いのではないかと思います。小中一貫校を設置する場合には、運動場の広さ等において、ある程度の敷地の確保が必要になると思います。
- 事務局 東かがわ市の小中一貫校では、プールを設置せず、授業では民間のプール施設を利用しておりますので、学校を新しく作り直す際には、プールを設けず、民間施設を利用していくのも良いのではないかと思います。
- 会長 学校再編で学校を新築する場合と、長寿命化等で既存の学校を改築する場合に国庫補助の割合はそれぞれどうなっていますか。
- 事務局 国庫補助には国の基準があり、学校再編で整備を行った場合には原則補助対象の 1/2 で、学校を改築する場合には原則補助対象の 1/3 となります。
- 会長 それでは次に、(2) 保護者・生徒用アンケート結果について、を議題とします。事務局より資料の説明を願います。
- 事務局 (配布資料の説明)
- 会長 事務局より資料の説明がありました。当資料に関して、委員の皆様からご質問やご意見等がありましたらお願いします。
- 委員 アンケート結果より、小学生の時に 1 学級で育った生徒の一定数は 1 学級を支持していないことから、その中には、固定された環境の中で辛い思いをした生徒が少なからず存在すると思われるので、単学級よりは複数学級の方が望ましいと思います。
- 会長 次に、(3) 学校再編整備の考え方 (会長素案)、を議題とします。
この素案は、あくまでも今後議論を行うための叩き台ですので、これからの議論の中で、委員の皆様とより良い案に仕上げていけたらと思っております。それでは私より素案の説明を行います。
(配布資料の説明)

会 長 私は、前回の計画策定に携わっており、進捗状況も含めて客観的に見られる立場ではありますが、坂出市の実情を知らないがために、委員の皆様方にとって見ると、とんでもない提案や考え方をしている箇所があるかもしれませんので、委員の皆様から素案に関して、ご質問やご意見等がありましたらお願いします。なお、この資料については、委員会終了後に回収させていただきます。

委 員 地域住民は学校に対する思いが強いので、統廃合を実施する際には、学校が吸収されたという認識を持たれないように、校名や制服、規則等も考えていかなければならないと思います。

委 員 先日、震度 3 の地震がありました。自然災害が起きても学校に通っている子どもたちが安全・安心な教育環境が送れることを念頭において、学校再編を考えていかなければならないと思います。

会 長 それでは議事の最後の(4)その他についてですが、事務局より何かありますでしょうか。

事務局 小中一貫校の整備手法として、越谷市のように官民連携の PFI 事業で進めている自治体もありますので、次回はその手法をご説明出来たらと思います。また、東かがわ市への視察希望がございましたら、先方との調整の上、ご案内出来ればと思います。

最後に次回、第 6 回検討委員会の日程調整をお願いします。

会 長 次回の日程について、1 月 26 日の午前でいかがでしょうか。

委 員 (異議なしの声あり)

会 長 それでは、次回は 1 月 26 日、水曜日の 10 時からでお願いします。

委員の皆様で、そのほか何かありますでしょうか。

(特になし)

会 長 特になしですので、以上で本日の議事を終了します。

以上

以上のとおり相違ないことを確認し、ここに署名します。

令和 4 年 / 月 8 日

会 長

毛利 猛

会議録署名人

中井直樹